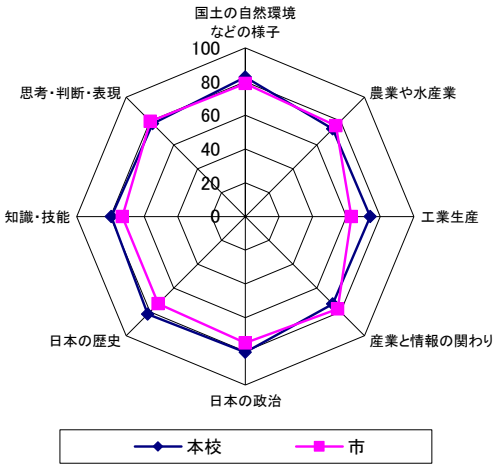
宇都宮市立桜小学校 第６学年【社会】領域別／観点別正答率

★本年度の市と本校の状況

		本年度		
		本校	市	参考値
領域別	国土の自然環境などの様子	82.7	78.9	75.4
	農業や水産業	73.3	76.1	71.2
	工業生産	74.1	62.9	59.4
	産業と情報の関わり	73.3	77.6	59.7
	日本の政治	80.6	75.0	79.3
	日本の歴史	81.9	73.1	72.8
観点別	知識・技能	79.5	73.0	71.4
	思考・判断・表現	77.8	79.8	71.9

※参考値は，他自治体において同じ設問による調査を実施した際の正答率。



★指導の工夫と改善

○良好な状況が見られるもの　●課題が見られるもの

領域	本年度の状況	今後の指導の重点
国土の自然環境などの様子	○日本の周辺の海洋名を答える設問では，6ポイント市の平均を上回った。 ●中国の国旗や位置を答える設問では，2ポイント市の平均を下回った。 ●日本の地形や名称を答える設問では，1ポイント市の平均を下回った。	・国土や世界の様子について，国旗のフラッシュカードを用いるなどして興味をもたせながら，復習をさせるようにする。
農業や水産業	○米の生産量について，表を読み取る設問では，1ポイント市の平均を上回った。 ●魚の流通にかかる費用についての設問では，正答率が6ポイント市の平均を下回った。 ●日本の農業人口をめぐる課題についての設問では，正答率が3ポイント市の平均を下回った。	・時事的な話題も取り入れながら，米作りや水産業について，ニュースや新聞などを紹介するなどして，さらに理解を深めていく。
工業生産	○日本の工業生産についてや自動車の生産についての問題では，正答率が市の平均を大きく上回っている。特に自動車工場の作業工程に関する設問では，大きく市の平均を上回った。	・引き続き，日本の工業生産や自動車の生産に興味をもたせながら，自分の生活と学習していることを関連付けて理解させていく。
産業と情報の関わり	○インターネットを利用するときの注意点について問う設問では，7ポイント市の平均を上回った。 ●資料に着目して，コンビニエンスストアのポイントカードの利点を考える設問では，正答率が市の平均を15ポイント下回っている。	・学活や道徳科などで情報について学習する機会を生かして知識や理解を高めるだけでなく，具体的に日常生活での話題も組み込みながら理解を深めさせる。
日本の政治	○日本の政治に関する問題では，市の平均を5ポイント上回っている。 ○日本国憲法や非核三原則について答える設問では，それぞれ10ポイント市の平均を上回った。	・日本の政治について，時事問題を用いるなどして興味をもたせながら，復習をさせるようにする。
日本の歴史	○歴史については，どの時代もよく理解しており，正答率は市の平均を上回っている。 ●室町文化についての設問では，正答率が市の平均を6ポイント下回った。	・正答率の低かった設問について，その時代に関する内容を復習させるようにする。